

そもそもこれは。この寺を守護し^{テラ シュゴ}奉^{タテマツ}る。韋駄天^{イダテン}とは我が事^{ワ コト}なり。

ここに足疾鬼^{ソクシッキ}という外道^{ゲドオ}。在世^{ザイセ}の昔^{ムカシ}の執心^{シウシン}残^{マタ}つて。又この舍利^{シャリ}を取^ト

つて行く。何處^ユまでかは遁^{イツク}すべき。その牙舍利^{ノガ}。置^{ゲ シャリ}いて行^オけ

いや叶^{カノ オ}ふまじとよこの佛舍利^{ブツシャリ}は。誰^{タレ}も望^{ノゾ}みの。あるものを

欲界色界無色界^{ヨッカイシキカイムシキカイ}欲界色界無色界^{ゲテンヤマテンタ ケジザイテン}。化天^{サンジウサン}耶摩天^サ他化自在天^ニ。三十三

天^{テン}攀^ヨぢ上^{ノボ}りて。帝釋^{タイシャクデン}天^オまで追^アい上^ボぐれば。梵王^{ボンノオテン}天^イより出^アで會^イ

給^{タマ}いて。もとの下界^{ゲカイ}に。追^{クンダ}つ下^{クンダ}す